

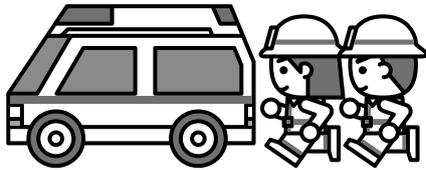
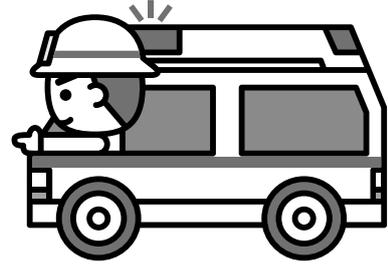
# 消防本部からのお知らせ

## 救急車の適正利用のお願い!

近年、全国で救急車の出場件数が急増しています。能代山本では平成29年中に3,380件（1日平均9.3件）の出場があり、過去最高の件数となりました。実際に医療機関へ搬送された人数は3,140人で、そのうち約40%が入院を必要としない軽症と診断されております。

119番通報で救急車を要請すると、最も現場に近い救急車が出場し、最寄りの救急車が出場中の場合は、その次に近い救急車が出場します。緊急性のない救急要請が多くなると、救急車が到着するまで時間は長くなり、1分1秒を争う救急活動に支障が及びます。平成29年の能代山本管内では、通報から現場到着まで平均7.8分を要しています。限られた救急車を適正に運用する為には皆様のご協力が必要です。

※AED（電気ショック）が1分遅れる毎に社会復帰率は7～10%低下と言われております。



救急車は大切な命を守るため24時間対応します。本当に必要な人が救急車を利用できるように、住民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

問合せ 消防本部 救急課 ☎52-3368

# 環境衛生課からのお知らせ

## ばい煙、放流水質、ダイオキシン類の測定結果

問合せ ☎89-2426

### <南部清掃工場>

#### ○ばい煙濃度

	1号炉				2号炉			
	ダスト濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	硫黄酸化物量 (m <sup>3</sup> N/h)	窒素酸化物濃度 (ppm)	塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)	ダスト濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	硫黄酸化物量 (m <sup>3</sup> N/h)	窒素酸化物濃度 (ppm)	塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)
排出基準	0.08	68	250	700	0.08	69	250	700
H30.5.15測定	0.01未満	0.11未満	86	10	0.01未満	0.09未満	81	23

#### ○ダイオキシン類排出濃度

単位：ng-TEQ/g

排ガス 単位：ng-TEQ/m<sup>3</sup>N

排ガス	測定日	結果	基準値
1号炉	H29.9.6	0.018	5
2号炉	H29.9.6	0.51	5

	焼却灰			ばいじん		
	測定日	結果	基準値	測定日	結果	基準値
1号炉	H29.9.6	0.0014	3	H29.9.6	1.4	3
2号炉	H29.9.6	0.0000075	3	H29.9.6	0.8	3

※平成12年1月15日以前に建設された焼却炉では、排出濃度が基準値を超える場合でも、薬剤処理（キレート処理等）によって溶出しにくい化学的に安定した状態にする方法などが適正な処理として認められています。

### <中央衛生処理場>

#### ○放流水水質検査

	pH	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	鉱油類含有量 (mg/l)	動植物 油脂類含有量 (mg/l)	アンモニア、アン モニウム化合物、 亜硝酸化合物及び 硝酸化合物 (mg/l)	酸素消費量 (mg/l)	大腸菌群数 (個/cfl)
排出基準	5を超え9未満	600未満	600未満	5	30	380未満	220未満	3000
H30.6.8測定	7.5	7.2	27.0	2.0未満	2.0未満	5.8	32.0	10

※平成29年度より、沈殿槽処理水を海域放流から能代市公共下水道への排出に移行しています。

#### ○ばい煙濃度

	焼却炉			
	ダスト濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)	窒素酸化物濃度 (ppm)	塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)
排出基準	0.15	12	-	700
H30.5.1測定	0.01未満	1.1	57	54



#### ○ダイオキシン類排出濃度

単位：ng-TEQ/g

排ガス 単位：ng-TEQ/m<sup>3</sup>N

排ガス	測定日	結果	基準値
焼却炉	H30.1.19	0.057	10

	焼却灰			ばいじん		
	測定日	結果	基準値	測定日	結果	基準値
焼却炉	H30.1.19	0.0056	3	H30.1.19	0.011	3